



▲東京オリンピック出場への決意新たに晴れやかな笑顔で

子どもたちが夢を抱ける オリンピックとの関わりを

市長 1964年に前回の東京オリンピックが開催されたとき、私は

また、長崎さんや郡司さんのように全国大会で優勝するような選手を応援する体制も必要ですね。ぜひ、海老名市からオリンピック選手が出てほしい。それに向けて、体制づくりをしていきたいです。

小学校4年生でした。開会式で赤いユニフォームを着て行進する日本選手団を見たときには本当に感動しましたね。今度の東京オリンピックに海老名市出身の選手が出場すれば、市民にとってもオリンピックやスポーツが身近になるでしょう。市内出身の選手が出場した時には、子どもたちの観戦やボランティアの派遣を積極的に行いたいと思っています。海老名の子どもたちが夢を持てるようなオリンピックと

郡司さん 中学生と一緒にやっています。
市長 中学生が相手でも勝てるんじゃない？
郡司さん 同じチームに東京都でトップクラスの中学生がいて、その人には勝てないですね。
市長 同じチームに強い選手がいるのはいいですね。長崎さんはどうですか？
長崎さん 練習では自分よりも年下の子たちを相手にする時間もあります。体力的にはきつくないですが、いかに自分ができるいなボールを返せるかを考えながら打っています。
市長 後輩の指導もしているんだね。やっぱり全国のトップに行く選手たちは違いますね。

トップ選手を目標としながら オリンピックを目指す

市長 今日はたくさんさんの賞状やメダルを持ってきてくれて、ありがとう。全国大会で優勝したときは、どんな気持ちでしたか？
長崎さん 全国大会の前に、練習をやりすぎて故障してしまい、2週間ぐらいハードな練習ができませんでした。不安はありましたが、周りの人たちが支えてくれたおかげで優勝ができて、とても感謝しています。
郡司さん 私は先輩たちに感謝しています。練習のときにいつも相手をしてくれたおかげで、優勝できたと思います。練習の送り迎え



ながさきみゆう
長崎美柚さん
卓球

市立大谷小学校6年。全農杯平成26年度全日本卓球選手権大会（平成26年7月25日～27日兵庫県神戸市開催）で、ホープス女子シングルの部で優勝（フェアプレー賞）。



ぐんじりこ
郡司莉子さん
バドミントン

市立大谷小学校6年。全国小学生ABCバドミントン大会（平成26年8月15日～17日熊本県八代市開催）で、シングルス・Aグループ・女子の部で優勝。

などをしてもらっているの、家族にも感謝です。
市長 それは大変だね。でも、ご家族はお二人のことを誇りに思っていますよ。

やりたいことができる環境と 全国レベルの選手支援を

市長 現在、海老名市には就学前の乳幼児がおよそ7000人、小学生がおよそ7400人、中学生がおよそ3500人います。これだけの数の子どもたちが、それぞれ好きなことができる環境を作っていきたいですね。スポーツでもいいし、文化的なことでもいいと思っています。



▲ビナスポでは卓球もバドミントンもできる

の関わりを持っていきたいですね。お二人が東京オリンピックに出場することになったら、ぜひ応援団長を任せてください。そして、市外の学校に進学しても、「出身はどこですか？」と聞かれたら、「神奈川県海老名市です」と言ってください。

市長 スポーツなど一つのことには熱中している子どもは健やかに成長していきます。やり遂げた達成感や人生を歩んでいく上で大きな糧になります。どうか、オリンピック出場を目指してがんばってください！
長崎さん、郡司さん ありがとうございます！

当機

海老名市長
内野 優

●年頭の言葉 当機（とうき）

機をそらさない、まさにそのとき、という意味の禅語。私たちの日常の中には、チャンスがたくさんあります。しかし、多くの人はそのチャンスに気付かず、逃してしまいがちです。日々の修練を積み重ね、自分自身の機が熟したまさにその時、一気に目の前が開ける。その瞬間こそが「当機」です。大きなチャンスを逃さないために、物事の本質を瞬時に理解する力や感受性を養い、心のアンテナを高く張りましょう。